


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和5年11月6日

山北町議会議長 石田 照子 殿

受付番号	第3号	質問議員	11番	児玉 洋一	
件名	山北町第6次総合計画策定に向けて				
要 旨					
<p>町の最上位計画に位置付けられる総合計画。町では昭和45年から先の10年間を見据えた初めての総合計画が策定されて以降、令和5年度には第5次総合計画が終了し、令和6年度からはいよいよ第6次総合計画がスタートする。</p> <p>この10年を振り返ってみると、安倍政権の経済政策「アベノミクス」が始動し、消費税が5%から8%、10%と段階的に引き上げられ、時代が平成から令和へ新たな幕が明けた矢先には、全世界を脅かす感染症パンデミックと急激な社会の変容に加え、急速に進展するデジタル化や脱炭素化、SDGsへの取組みなど、社会環境は大きく変革してきた。一方、想定規模を上回る大規模自然災害や富士山噴火など、災害に強いまちづくりはこれから大きなテーマとなる。</p> <p>今後この先の10年を見据えた中で、これまでの総合計画とは異なるより実効性の高い第6次総合計画が必要であると考え、以下の質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 計画策定までのプロセス及び現在までの進捗状況は。2) 策定の基本となる「バックキャストイング」手法を取り入れることで、従来の総合計画と何がどう変わるのか。3) 第5次総合計画の検証とその成果をどう捉えているか。					
以上					